

## 内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

### A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b
<コメント> 保育理念と保育方針を明文化し、子どもと保護者等の安心と信頼関係を築くように努めている。さくらんぼ・いちご・りんご・めろん・すいかなど地域で採れる農産物を各クラスの名称に用い、職員参画の下で創意工夫しながら同じ保育観をもって保育課程を編成している。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<コメント> 園庭やプールなど外の設備や用具を整備し、広々とした園内ではままと遊びに必要な用具や玩具を揃えてコーナー遊びに力を入れ、床暖房を設置して子ども達は素足で元気に遊んでいる。		
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b
<コメント> 児童票の提出と個人面談等を通じて情報をもらい、子どもの様子を把握している。一人ひとりの個人記録をもとに検討し、それぞれの個性を尊重して見守っている。		
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> 保護者等との情報交換を大切にして子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重し、主体性を持たせて生活習慣を身に付けられるようにしている。日々変化する中で無理のないように子どものペースに合わせた保育が行われている。		
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<コメント> 子どもの発達に応じて主体的・自発的に遊べるように環境を整え、自然環境を生かした保育が行われている。リトミックで豊かな表現力や集中力・創造力などさまざまな力と能力を養い、生活と遊びが豊かに展開されるよう工夫している。		
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 家庭での生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れるようにしている。月齢差に留意しながら発達に合った活動が出来るようにしてスキンシップを図り、ちょっとした成長に喜びを感じ保護者等と共有している。		
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 子ども一人ひとりの欲求をしっかりと受け止め、家庭と連携して取り組んでいる。コーナー遊びなど生活や遊びの中で友達との関係を育むように見守っている。		
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 集団生活の中で子どもが個性を生かしお互いに協力して遊びを中心とした環境を整えている。他園と交流する機会を多く設け、集団遊びの中でルールを学び個性を育むことが出来るようにしている。		
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<コメント> 現在、障がいのある子どもは在園していないが、専門的な研修を受けて経験もある職員がおり、いつでも受入れる体制は整えている。村山市の社会福祉協議会と連携し、毎年春に相談員の訪問を受けている。		
10	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<コメント> 登園後から10時の「朝のごあいさつ」までと午睡後のおやつタイム後は自由遊びとして異年齢交流保育を実施し、家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごせるよう心掛けている。保護者等から早番・遅番の職員への伝言は必ず担任に伝えるよう連携を図っている。		
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<コメント> 就学に向けて村山市就学児資料を作成して提出し、小学校から教師の訪問があり子ども達の様子を見てもらい情報交換している。卒園児の一年生との交流で小学校生活の話をしてもらい、年長児は入学への期待を膨らませている。		

## 内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

A-1-(3) 健康管理			
12	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	<b>a</b>
<コメント> 子どもの健康管理は送迎時に保護者等からの伝言や連絡帳で確認し、職員は視診を注意深くして体調変化を見逃さないようにしており、気になる時は法人の看護師のアドバイスを受けている。乳幼児突然死症候群の予防にプレスチェック表で0歳児5分間隔、1歳児10分間隔で記録している。			
13	A-1-(3)-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	<b>a</b>
<コメント> 内科検診年2回、歯科検診年1回を定期的に行い、結果は保護者等に知らせており、異常があった場合は再診結果を口頭で確認している。毎月の身体測定と検診結果は個別の児童票に記録している。			
14	A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 入園時に保護者等から医師の診断結果をもとに食物アレルギーチェック表・食物アレルギー対応食申請書を提出してもらい、現在卵アレルギーの子どもがおり、給食・おやつで除去食の対応を行っている。服薬は保護者等から薬の連絡票に記入があった場合のみ担任管理のもとで行っている。			
A-1-(4) 食事			
15	A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫している。	<b>a</b>
<コメント> 献立は園の年間目標・行事に合わせ季節が感じられるよう工夫を凝らし作成している。保護者等には献立表や給食だよりで知らせ、その日のサンプルを玄関に展示している。食器や旬の食材にこだわり、リクエストメニューも取り入れておいしく楽しい時間となっている。園の畑で皆で育てた野菜も入れ、苦手な子どもも食べられるようになるなど食育に力を入れている。			
16	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	<b>a</b>
<コメント> 年に一度保健所の検査や指導を受け、給食マニュアルを整備し4園の栄養士・調理師等が集まり給食について話し合い意見を反映させており、残食の調査記録や検食も行われている。			

### A-2 子育て支援

			第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
17	A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	<b>b</b>
<コメント> 保護者等とは連絡帳での情報交換や送迎時・行事の参加時などにコミュニケーションを取るよう心掛けている。意見や要望等は真摯に受け止め施設長会議で検討しているが、全部に応じられない場合もあり保護者等の理解が得られるような取組に期待したい。			
A-2-(2) 保護者等の支援			
18	A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	<b>a</b>
<コメント> 送迎などの個別の来園時に話し易い雰囲気づくりを心掛け、子どもの成長面で良いところを伝えるよう努めている。相談があった場合は共有を図り記録に残し対応している。			
19	A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	<b>b</b>
<コメント> これまで虐待の報告はないが、登園時の視診で子どもの身体の状態や朝食を摂っているかなどに留意し早期発見に努めている。			

## 内容評価細目の第三者評価結果 【保育所版】

### A-3 保育の質の向上

			第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
20	A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
<コメント> 保育士は各活動の中での反省や定期的実践を振り返り質の向上に向けて取り組んでいるが、保育園全体の自己評価までには至っていない。			